

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年10月21日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 6人（内訳：当事者0名、家族6名 専門職0名）

2回目 3人（内訳：当事者2名、家族1名、専門職0名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、はじめに参加者の皆さんそれぞれ近況を報告しました。宜野湾市・北中城イベント「泉とオバーのよんな～笑って介GO～」を鑑賞してきたが、認知症とは思えない会話力だった等、“認知症”は「外から見ただけではその人の生きづらさが分かりにくい」という話題がありました。1回目の参加者は介護家族の女子会の様な会になり、それぞれの介護の現状について悩みやケアの工夫を情報交換されていました。2回目の会は当事者のお二人。お二人とも男性でしたので、発言がポツリポツリではありましたが、近況の過ごし方や挑戦してみたいこと等の意見交換をしました。

5. 所感

認知症の症状や利用されているサービスによって、介護の状況は様々ですが…就労の事、これから介護保険利用を考える方、在宅での介護の方法について、医療機関の受診について、施設での面会について…皆さま其々状況は違えど、同じ体験をしている仲間だからこそ…共感・理解しあえる対話がいつも繰り広げられています。今回のスイーツはスコーンをお土産に準備しました♪



★次回予定：2023年11月18日(土) 以上